


●ガバナー 今井 高志 ● 会長 西村 幸也 ● 幹事 西尾 和樹 ● コミュニケーション委員長 熊谷 道雄

ホームページ：http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/ Email：hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp

Facebook ページ：https://www.facebook.com/hachinoheminamirc/

 Facebook ページに「いいね！👍」をお願いします。

RI 第 2830 地区ホームページ：http://www.rotary-aomori.org/2016/

## 第 2073 回 例会 記録

《ゲスト卓話例会》

2018 年 8 月 30 日 (木)

点鐘 12：30

レポート No. 1505

## 四つの反省

- 1) 真実だったか どうか
- 2) みんなに公平だったか
- 3) 好意と友情を深めたか
- 4) みんなのためになったか どうか



桜田職業奉仕委員長

### 《ゲスト》

北山輝夫パストガバナー (八戸北 RC)

### 《会長要件》西村会長



皆さま、こんにちは。本日はロータリー財団委員会担当例会です。八戸北クラブから北山輝夫パストガバナーをゲストスピーカーとしてお迎えしていますので、私の挨拶は会長要件というよりは、ロータリーの一会員としてロータリー財団をどう認識しているかに留めたいと思います。

皆さんは、「ロータリー財団」と聞くと何を連想されますでしょうか？ 私達にとって、「財団」イコール「寄付」という連想で、気が重いものを感じているかもしれません。しかもその目標額が、年次基金ひとり 100 ドルから 120 ドル、150 ドルと徐々に増えてきています。

少し話がそれますが、「寄付」に対する感覚は、欧米と私達とでは随分違います。たとえば、欧米の私立大学の多くは、その財政基盤が卒業生などの寄付によって成り立っているのは皆さんご存じの通りです。ロータリー財団は、第一次世界大戦のさなか、1917 年に第 6 代 RI 会長 アーチ・クランフの熱意によって創設されました。彼は財団設立の意義のひとつを、「ロータリーは、目の前にある問題の解決を目指すだけではなく、幾世紀にもわたる運動だからです」と述べています。昨年、ロータリー財団は創立 100 周年を迎え、アトランタでのロータリー世界大会ではアトランタが発祥の地ということもあり、財団 100 周年記念も兼ねて開催されました。私はその大会に出席したりし、その後もロータリー財団の話聞く機会もあって、財団の基金は「ポリオ撲滅」という壮大な目標ばかりではなく、地区補助金・グローバル補助金などとして私達の活動に還元されていることなどを少しずつ理解するようになりました。

さて、今日お話をさせていただく北山輝夫パストガバナーは、皆さんよくご存じの方ですので改めてご紹介するまでもありませんが、2013—2014 年に当地

### 《出席報告》原委員長



正会員数 37 名。本日の出席は免除会員 2 名を含む 22 名。出席率は 69% です。前々回の例会は、任意休会でした。

区のガバナーを務められ、それは私の入会直前の時期に当たります。しかし、昨年のアトランタでの世界大会、今年のトロントでの世界大会でご一緒いただいたこともあり、そのお人柄に触れ、私が憧れるロータリアンのお一人です。後ほどご講話をお聞きする予定ですが、大変楽しみに期待しているところです。

### 《バッヂ伝達》



新ポールハリスフェロー会員 米内会員

### 《幹事報告》西尾幹事

#### 理事役員会報告

10 月のプログラム、10 月 4 日 (木) 地区大会報告例会、10 月 11 日 (木) 会員卓話例会、10 月 18 日 (木) 例会変更よろず相談報告例会として 10 月 20 日 (土) 18 時 30 分 菊の里 鼓 会費 3,000 円、10 月 25 日 (木) 例会変更 10 月 28 日 (日) 秋のスポーツ例会 カワヨグリーン牧場 9 時 45 分 パークホテル第 2 駐車場出発 会費 会員 2,000 円、家族 (中学生以上) 3,000 円、小学生 1,000 円、未就学児無料です。

・来週の会員増強委員会担当例会は 18 時 30 分 萬鱗です。



- ・地区大会出席の申し込みは明日までです。
- ・9月のロータリーレートは1ドル112円です。
- ・ザ・ロータリアン誌が届いています。
- ・例会変更のお知らせ、八戸東RC9月14日(金)時間場所変更、9月21日(金)時間場所変更、八戸北RC9月18日(火)場所変更、9月25日(火)時間変更、八戸中央RC9月10日(月)時間場所変更、八戸西RC9月20日(木)時間変更、10月25日(木)時間変更
- ・長生園より三社大祭招待のお礼状が届いています。

### 《ニコニコボックス》三笠委員

北山 PG: ニコニコ

西村会長：北山パストガバナーのお話を楽しみにしています。

西尾幹事：北山パストガバナー、本日はよろしくお願ひ致します。

橋本会員：北山パストガバナー本日はよろしくお願ひ致します。先週の公式訪問例会、西村会長、西尾幹事、久保田ガバナー補佐、皆様大変ご苦勞様でした。

黒田会員：北山パストガバナーには卓話よろしくお願ひ致します。

石橋会員：北山パストガバナー有意義な卓話を期待しています。

小原会員：北山パストガバナーようこそ、本日はよろしくお願ひいたします。

米内会員：前はガバナー公式訪問申し訳ありませんでした。

伊藤会員：北山パストガバナー本日はよろしくお願ひ致します。

吉田賢治会員：北山パストガバナー、今日はよろしくお願ひ致します。



### 《ロータリー財団委員会》石橋委員長

皆さんこんにちは、担当例会ですけれども口下手な私に代わって会長が皆言ってくれました。ありがとうございます。北山さんには有意義な卓話をお願いしたいと思っております。先ほど聞いたら1時間半ほど時間が欲しいなと仰いましたがさすがにそれは無理なので手短にお願ひしたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。

### 《ゲスト卓話》北山輝夫パストガバナー

財団のお話をということで卓話の依頼を受けましたが南クラブさんは素晴らしい財団実績を持ったクラブですので私が講釈するのは憚られますので、私の財団とのかかわりとロータリーについての私見のお話をしてお役目にしたいと思ひます。

私は1980年に八戸北ロータリークラブに入会させていただきました。1989年に会長を務めた後、故浅水逸郎PDGの時に分区代理(現在はガバナー補佐)、桜田PDGの時に地区財団委員長を務めました。

分区代理を務めた時期は正に財団活動が活発になっていく時で、さまざまなセミナーのテーマがい



つもお金集めのような時期でした。分区代理の任務の重要な一つはIMの開催でしたから、ホストクラブを五戸RCさんをお願いし、故福地義男PDGにアドバイザーをお引き受けいただき、IMの内容等について検討するために幾度か会食する機会がありました。

IMのテーマに関連して私が「ロータリーは職業奉仕を主な理念とする団体で、寄付団体じゃないのだからお金お金と言われるのはちょっと違和感があるんです。」と申し上げたら「財団活動については、よく理解したうえでないとね。また寄付で実績を作ってからにしないと。寄付活動をおろそかにしてつべこべ言うのは寄付をしないことの言い訳にしかとってもらえないよ。ちょっと財団について勉強すると、大きなお金でなければなしえないロータリーの理念が解りますよ。大きなお金をロータリアン個人、個人の善意の寄付で作ることが大事ではないのですか。財団でしかなしえないロータリーの役割もあるとは考えられませんか。」とおっしゃいました。

勉強不足の私ですから、その時は何となく「けむ」に巻かれた感じでそれまで漠然と考えていた「IMのテーマ」は「財団」から、「親睦とは」に変更しました。

「財団」についての理解は遅々として進まないままでしたが、その後、財団委員長を拝命しゾーンの会議などにガバナーと一緒に出席していました。それまでは各地区の状況にはあまり関心を持っていませんでしたが、気が付かされたのは各地区に寄付ゼロクラブがあるということでした。

当時、当地区には財団寄付「0」又は「ゼロ」に近いクラブが2～3割ありました。私はゼロクラブは当然財団プログラムに関心があるわけがないと考えていました。

「お金を集める」に対してはまだ少し抵抗感はありましたが、委員長の役割の中に財団活動に対する理解を深めることもあると考え、積極的に財団に対する理解を頂ける活動をいたしました。

その中で実施したアンケートの内容を調べていると、寄付実績がないのは、財団寄付に抵抗があるのではなく、単に事務上の課題が原因なクラブが多いのだと気づかされました。事務局のあるクラブとそうでないクラブとでは随分と違いました。歴史のあるクラブと新しいクラブとではまた少し財団に関する雰囲気が違う気がしました。そこで寄付「0」クラブ「0」を財団委員会の目標に設定、節約例会や行事の際の寄付などを提案しました。また事務処理に関してお手伝いや手引きなどを示して「0」クラブの解消を目指しました。残念ながら私の委員長時代には「0」クラブ「0」は実現しませんでした。その後実現できました。

クラブごとに工夫は違いますが、財団、米山、「にこにこ」とわけて、寄付を例会ごとに集めているクラブも多くなっている気がします。私の八戸北RCもそのようにしています。

私は現在も勉強不足のままですが、うちのクラブで機会をとらえて話題にするようにしています。個人的には年間の寄付計画を立てています。ロータリー財団プログラムの中で、ポリオの活動はその代表的なものだと思います。ビルゲイツ財団が協働してく

れていることも財団の活動がロータリーの理念に沿うものと言えるのではないのでしょうか？昔話でした。

大災害時などの時におけるクラブ、地区、R I の対応には様々なご意見があると思いますが、私の判断基準について私見を述べてみたいと思います。

ロータリーとはなにか？「ロータリーとは」に対するロータリアンの答えは千差万別でしょう。なぜロータリアンごとに違う「ロータリーとは」なのにクラブに集うのでしょうか。みなさんはどう思いますか？

人々が互いを認め合い（寛容）、親しく交わり（親睦）、「同じ目的」に向かって助け合い、その「同じ目的」を他の人々に伝えることができるなら、この活動こそがロータリーではないかと思います。「同じ目的」こそが、互いの研鑽と財力によって進められる社会奉仕であり国際奉仕ではないでしょうか。本来は「同じ目的」を持った人が集まるのがロータリークラブかもしれませんが、私には「同じ目的」を探す旅の始まりがロータリークラブ入会ではないかと思います。社会奉仕として何を選択するのか、国際奉仕として何を選択するのかはクラブ単位、地区単位、ゾーン単位のセミナー等を通じて考えられていくべきも

のでしょう。

個人として出きる事は限りがありますが、できる人（ロータリアン、ロータリークラブ、地区、R I）が、出来る事（財団プログラム、クラブプログラム、個人プログラム等）を、実行しようとしたときにその行動に関わることがロータリーであり、これこそが「同じ目的」だと考えています。職業上の識見を活かした皆様の相談会活動は正にロータリーの理念を表したものだと思います。ポリオ含む財団プログラムは世界規模のロータリーの理念を表すものではないかと思えます。正に「同じ目的」だと考えます。

最後になります。ロータリーとは変化していくものだと言っているポール・ハリスも述べています。何事も変化していかなければ残れないのだと歴史も教えています。職業奉仕を隠れ蓑にしてはいけないと様々な論争がなされています。

「友」2017年1月号に掲載されて当南グループのIMで講師をお勤めいただいた第2840地区PDG本田博己氏の「決議 23-34」に関する投稿について、反論などが5月号、8月号にも掲載されています。是非ご覧ください。

お役目になつたかどうかはわかりませんが終わりといたします。御清聴ありがとうございます。